



ジャゴケの表面(背面)にはたくさん白い斑点があり、その中央には「穴」が開いています。穴の中はどうなっているのでしょうか？潜入してみました。

(2010年12月14日 横浜市西区)

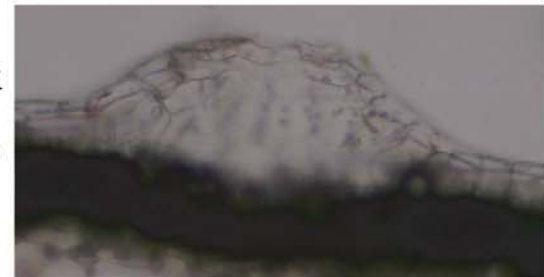
「穴」が
いっぱい

「穴」に近づいてみると、等高線のような細胞壁が見えます。まるで噴火口のようなようです。

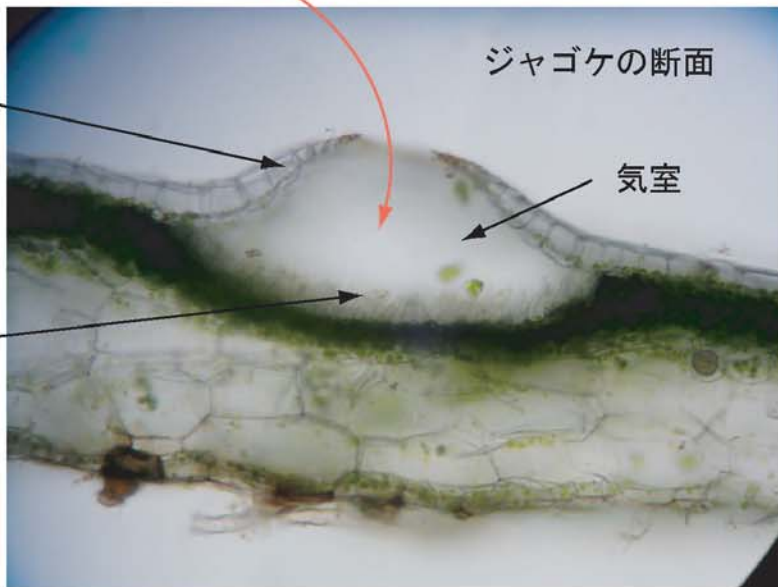


ドームの頂に開いている穴(気室孔・きしつこう)からドームの中に潜入してみましょう！

横から見るとドームのように盛り上がっています



気室孔の孔辺細胞の断面はアーチ型



ジャゴケの断面

気室

同化糸

ドームの中は広い部屋(気室)になっていて、壁(気室孔の孔辺細胞)の断面はアーチ型をしています。床には透明な細胞(同化糸)が敷き詰められています。



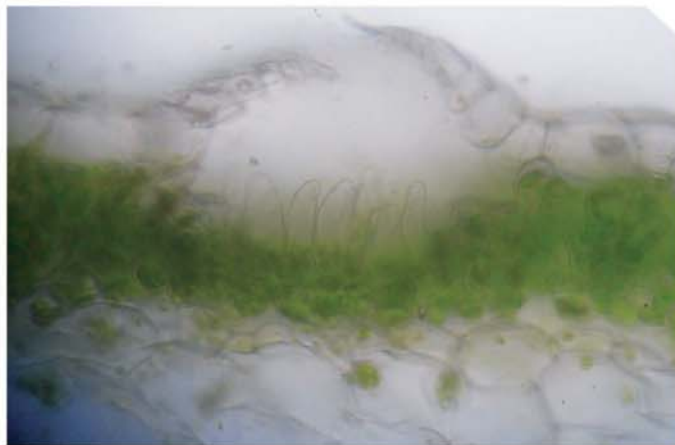
これがジャゴケの同化糸。先端は細長い円錐形をしています。種によってこの形は異なり、同化糸のないものもあります。



気室孔

ドームの中(気室)には何か詰まっているのでしょうか？ミカツキゼニゴケを水に浸してみたら、しばらくすると気室孔からプツリと風船のようなものが出てきました！気室の中身は空気、つまり空洞だったようです。

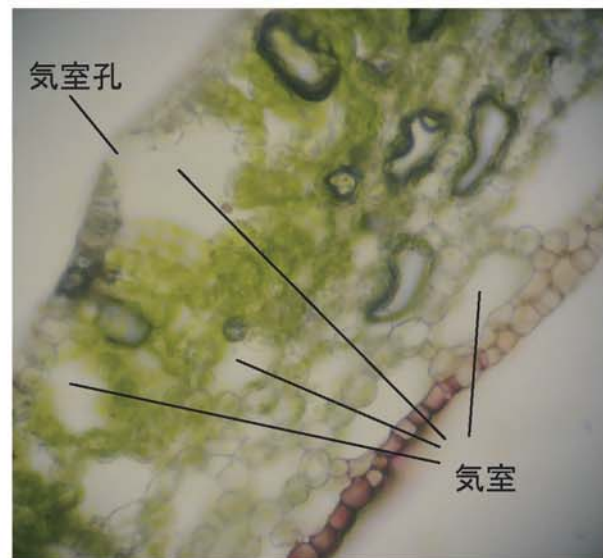
ジャゴケの他にも気室の壁がアーチ型をしている葉状体苔類がみつかりました。



ヒメジャゴケ

Conocephalum japonicum (Thunb.) Grolle

- ・同化糸の先端の細胞はジャゴケほど先が尖らず丸みを帯びています



ジンガサゴケ *Reboilia hemisphaerica*

(L.) Raddi subsp. *orientalis* R.M. Schust.

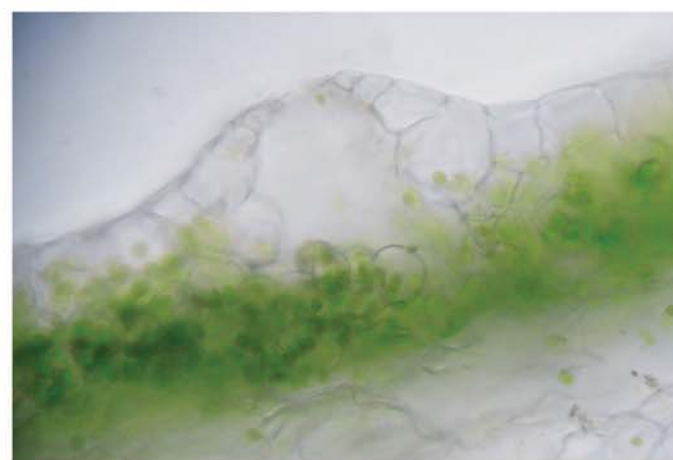
- ・気室が数層網目のように重なっています。
- ・同化糸はありません。



ミカツキゼニゴケ

Lunularia cruciata (L.) Dumort. ex Lindb.

- ・同化糸は丸い細胞が数個積み重なっています



アズマゼニゴケ

Wiesnerella denudata (Mitt.) Steph.

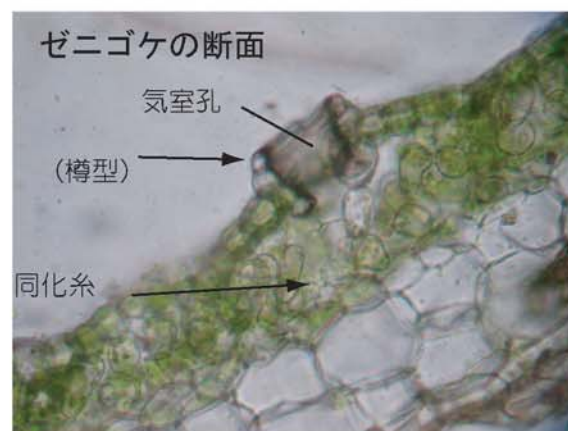
- ・同化糸は丸い

似たように見える葉状体苔類でも気室の壁はアーチ型ばかりではないようです。



ケゼニゴケ

Dumortiera hirsuta (Sw.) Nees には気室孔が見当たりません・・・



ゼニゴケ

Marchantia polymorpha L. の気室の壁は「樽型」をしています。

ゼニゴケの「樽」の中にも潜入してみたいですね！